

日本地理言語学会第八回大会募集要項

期日：2026年5月30日（土）

場所：滋賀大学大津サテライトプラザ

（詳しい会場の位置は4月下旬に出るプログラムに記します）

〒520-0056 滋賀県大津市末広町1-1

開催方法：ハイブリッド（会場での対面型、Zoomオンライン型の併用）

使用言語：日本語または英語

範囲：世界諸言語の言語地図を使った研究。個別の言語特徴を類別した記号により作図し、その地理分布に即して形成過程を論じた内容を主としてください。地図記号は形・大きさ・色を適切に調整して明確に示してください。地名や姓も地図を使った研究は対象となります。また地理軸を含めれば glottogram や統計的な研究のような図表やグラフによる研究も対象となります。既存の言語地図を参照して新たな知見を示す研究も可能です。但し、方言の記述、比較のみを扱った研究及び非学術的テーマは対象とはなりません。

対象：どなたでも発表応募でき、聴講することができます。日本の国内学会ではありますが、海外の参加者の発表も歓迎します。ただし、学会及び大会開催校はビザの取得や本邦滞在の接待などは扱いません。

応募方法：2026年3月22日から3月31日までの間に、発表時に使用するのと同じ言語で書いたアブストラクトを gsj.conference2026@gmail.com に word ファイルと pdf ファイルで提出してください。母語以外で書く場合は必ずネイティブチェックを経る必要があります。提出されたアブストラクトは大会時に配布する要旨集にそのまま掲載します。A4 を縦に使い 2ページ以内 とし、上下左右は 30mm ずつあけ、40 行とし、11 ポイントのフォントを使い、最初の一行目に題名を中央揃えで入れます。副題がある場合は二行目にわたっても構いません。一行空白行を入れ、氏名とカッコ内に所属を中央揃えで入れ、更に一行空けて本文を始めます。一つ以上言語地図ないし地理軸を含む図表のサンプルを入れるのが採択の必要条件となります。ただし、サンプル地図は公衆送信において問題がないように、著作権処理をしておく必要があります。地図や図表も含めて 2 ページを超えていたり、レイアウトを変えたりせず、ページ数など上記以外の情報を入れたフッターやヘッダーは入れないようにしてください。Unicode 以外の付加フォン

トは使用せず、特に IPA は Times New Roman を使って入れ、SIL 系や他の付加フォントを避けてください。pdf ファイルはフォント埋め込みで保存してください。

採択者発表：上記のアブストラクトを受信すると、自動返信が即時に送られます。採否は2026年4月30日までに本学会ウェブサイトで発表され、個別には通知しません。

要旨集：提出されたアブストラクトを集めた要旨集は pdf 版でクリエイティブ・コモンズ Ver.4 に準拠した zenodo にアップされて、DOI が賦与され、本学会ウェブサイトにそのリンクが公開されます。つまり、提出した時点での公衆送信権の行使を当学会に対して許諾したこととなります。なお、提出されたアブストラクトは正規の論文とはみなされないので、それを基に執筆した論文はいずれの学術誌にも投稿することができます。

発表時間：発表 20 分、質疑応答 10 分。

※共著の場合、発表は必ず第一著者が全部又は一部を担当して下さい。第二著者以下は任意とします。

※発表をキャンセルする場合は直ちに gji.conference2026@gmail.com に理由（プライバシーには触れないでください）を添えて連絡して下さい。

参加費：会場・オンライン参加とも一律 2,000 円とします。学生は無料です。茶菓の提供はありません。事前申し込み方法の詳細についてはプログラム公開時に本学会ウェブサイトでお知らせします。

日本地理言語学会ウェブサイト

<https://geolinguistics.sakura.ne.jp/index.html>